

生活交通維持確保路線の状況（令和6年度）

路線名		補助区分	令和6年度における 利用状況		令和6年度 収支比率	令和6年度公費負担額	
			1便あたり 最大利用者数	1便あたり 平均利用者数		市負担額	国県等負担額
①	鳥居原ふれあいの館～橋本駅線	国県補助	44人	16.6人	57.1%	18,181,956円	国 16,476,500円
							県 8,238,000円
②	橋本駅～小沢線	国県市補助	36人	17.9人	35.3%	13,132,914円	国 2,586,500円
							県 2,586,000円
③	三ヶ木～半原線	市町補助	13人	2.3人	21.3%	16,074,000円	愛川町 2,679,000円
④	三ヶ木～東野・月夜野線	市単独	49人	3.8人	14.9%	22,784,518円	
⑤	三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅線	国市補助	43人	16人	41.5%	37,724,390円	国 13,859,000円
⑥	名倉循環線	国市補助	39人	12.5人	51.4%	3,729,060円	国 237,000円
⑦	藤野地区4系統	国市補助	27人	5.3人	33.7%	38,205,867円	国 2,407,000円

※赤字は見直し検討基準に該当。見直し検討基準を下回った路線は、沿線地域住民と見直し検討を行う。

見直し検討基準：「ピーク時間帯の1便あたり利用者数が10人未満」または「運賃収入が運行経費の27.5%未満」

令和6年度公費負担額合計	国：3,557万円	県：1,082万円	愛川町：268万円
	相模原市負担額	：1億4,983万円	（対前年 957万円増）
	公費負担額計	：1億9,890万円	（対前年 817万円増）